



2019~2020

最上川



このマークはガバナーテーマの「サステナビリティ」をイメージして持続を表したデザインです

Lions Club332-E 地区機関誌



第66回年次大会記念アクティビティ

ガバナー・テーマ

サステナビリティ

アクティビティ・スローガン

「サステナブル・アクティビティ」

～持続可能性のある奉仕活動を～

CONTENTS

今期を振り返って	P 2
第66回地区年次大会	P 4
第3回キャビネット会議・	
第4回ゾーンチェアパーソン会議	P 6
キャビネット報告会	P 6
周年記念を迎えて	P 7
1年を振り返って	P 11
アクティビティ報告	P 17
マンスリーレポート	P 22

「サステイナビリティ ～持続可能性～」



ライオンズクラブ国際協会332-E地区

地区ガバナー **L.伊藤 明彦**

木々の緑がまぶしく爽やかな季節を迎えました。しかし爽やかな季節とは裏腹に世の中の様相が一変してしまいました。毎年この時期に開催されるライオンズクラブの最大の行事である地区年次大会が新型コロナウイルス感染症によって中止となってしまったのです。ライオンズクラブの歴史のなかで初めての事態であり、最後まで準備に携わっていただいた皆様のことを思った時に、かける言葉が見つからないのですが、絶対に次につなげていかなければと、今、心新たにしているところです。

ライオンズクラブのおもな活動は、皆が例会場に足を運び、顔を合わせ、声を発しながら、ライオンズの学びを深めていくことに特徴があります。会合や奉仕活動ができなくなると、手足が麻痺したように身動きができなくなってしまう。早く以前のように、皆様と暖かく触れ合うことができるよう、切に願わずにおれません。

「青天の霹靂」で第二副地区ガバナーに立候補させていただくことになってから早いもので3年が過ぎました。第二副地区ガバナーが受講する名古屋で開催された「上級リーダーシップ研究会」を皮切りに、332複合地区の第一副地区ガバナー研修、米国イリノイ州セントチャールズで開催されたガバナーエレクト・セミナーなど多くの研修を経験し、イタリア・ミラノで開催された第102回国際大会において、同じアジア人であるジュンヨル・チョイ国際会長の指名によりガバナーに就任することができました。

地区運営にあたりましては今年度ガバナーテーマである「サステイナビリティ」、アクティビティ・スローガンである「サステイナブル・アクティビティ」～持続可能性のある奉仕活動を～、地区運営方針、地区重点事業をご理解いただき、キャビネット構成員の皆様、全ての会員の皆様から特段のご協力をいただきました。本当にありがとうございます。

地球環境の悪化を食い止め、貧困や格差の問題を解決しようとすべての国連加盟国が合意した目標があります。SDGs(Sustainable Development Goals)と呼ばれる(持続可能な開発目標)です。世界を変えるための17分野の目標が掲げられています。その中には、貧困をなくそう、飢餓をゼロに、すべての人に健康と福祉を、質の高い教育をみんなに、などの目標がありますが、今年度はそのような分野の奉仕活動に積極的に取り組んでまいりました。

地球上のだれ一人も取り残さない持続可能な社会づくり、人が豊かな暮らしを続けていくためにはどうすればいいのか、どのような社会になれば持続できるのか。今後もこのようなことにすこしでも貢献できる奉仕活動に全力で取り組んでまいります。

最後の数ヶ月、思い切った活動ができなかったことは残念で、悔しい思いもありますがこの1年間を共に歩んでいただきましたキャビネット役員の皆様、そしてキャビネット事務局の皆様にも心より感謝申し上げ、332-E地区の今後の益々の発展を祈念し挨拶と致します。

1年間ご協力、誠にありがとうございました。



「一年間のご協力に感謝です」

ライオンズクラブ国際協会332-E地区

キャビネット幹事 **L. 二位関 賢** (山形蔵王LC)

今期の地区キャビネット幹事を仰せつかり、皆様からは大変ご協力をいただきました。

地区ガバナーテーマ 「サスティナビリティ」

アクティビティスローガン 「サスティナブル・アクティビティ」

～持続可能性のある奉仕活動を～

伊藤ガバナーの思いをどこまで実現できるか、暗中模索のスタートでした。

今期はLCIF100キャンペーン2年目に当たり、各ゾーンチェアパーソンには、この活動について会員の皆様にご理解・ご協力いただくために奔走していただき、大変ご苦労をおかけしました。紙面をお借りして心から感謝申し上げます。

また、公式訪問の際には、各ゾーンの皆様から様々なご意見・ご要望等をいただき、ライオンズクラブの魂(たましい)を教えていただいたように思います。

そして、たくさんの周年記念式典にもお招きをいただき、出席するたびに地域に根ざす各クラブの歴史と伝統に触れ薫陶を授かったことは、私の誇りとなりました。

ただ、返す返すも残念なのは、新型コロナウイルスの影響により地区年次大会を中止せざるを得なくなったことでした。伊藤ガバナーは、一年間の活動の締めくくりとしての晴れ舞台を心待ちにされていたことでしょう。私達もなんとか大会を開催できないものかとギリギリまで準備を進めてまいりましたが、感染症が相手では勝ち目がありませんでした。開催を楽しみにされていた皆様には、心からお詫び申し上げます。

しかしながら、以下の地区年次大会記念アクティビティにつきましては、滞りなく遂行させていただきましたことをここに報告いたします。

1. 山形交響楽団に楽器運搬車購入資金の一部を寄付
2. 山形市に公園健康器具を寄贈
3. 332複合地区アクティビティとしてラオスホンカー村にて小学校の建設支援

最後に、今期キャビネット会議ご出席いただいた構成員の皆様、会議等の準備を率先して行ってくださった副幹事の皆様、そしてスケジュール調整や事務を一手に引き受けてくださった事務局の森谷様と伊藤様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



「今期を振り返って」

ライオンズクラブ国際協会332-E地区

キャビネット会計 **L. 高橋 和成** (山形蔵王LC)

2年前伊藤ガバナーが第二副地区ガバナーになる際に、キャビネット会計の指名を受け、ライオン歴の浅い私がキャビネット会計という大役を全うできるのか不安いっぱいだった事を思い起こします。この間、緊張の連続でありましたが、有意義で貴重な体験を得る期間でもありました。

昨年6月末のイタリア・ミラノで初めての国際大会では、ライオンズクラブの活動規模に驚愕したとともに「いよいよ始まるな。」と身の引き締まる思いを今も覚えております。9月5日から始まりましたガバナー公式訪問では、332-E地区55クラブの三役をはじめ地区役員、又各クラブの皆様と接し、自身のクラブ活動の考えについて刺激を受け自己研鑽の大切さを実感致し、各セミナーにも参加し多くのことを学び体験させていただきました。

皆様にはLCIFキャンペーン100の他に、昨今の異常気象により多発する自然災害や、種々の活動に対する義援・支援協力金をお願いし心苦しく思っておりましたが、暖かい心でご協力をいただきありがとうございました。また各委員会・クラブに於かれましても、積極的に活動に取り組まれ奉仕活動の実践には感銘を受けるばかりです。充実した1年をありがとうございました。しかしながら、突然のコロナウイルス問題により3月以降のZC会議やキャビネット会議の開催の中止に始まり、ついには第66回地区年次大会の開催ができなかったことが心残りであります。

最後になりますが、ガバナー、幹事をはじめお支えくださった皆様には心から感謝申し上げます。キャビネット事務局の森谷さん、伊藤さん大変お世話になりました。

これからもウィサーヴの精神に則り社会貢献に励んで参りたいと存じます。ありがとうございました。

第66回 地区年次大会 大会テーマ「サステナビリティ」



ライオンズクラブ国際協会332-E地区

第66回地区年次大会 大会委員長 **L. 大久保 靖彦** (山形蔵王LC)

第66回地区年次大会は、若葉萌える新緑の季節に開催を予定いたしておりましたが新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い大変残念ながら中止となりました。

伊藤明彦ガバナーの意向もあり、早い段階より新しく生まれ変わる『新県民会館』においての式典開催を予定しておりました。

今回の年次大会式典に於いて、多くの会員にご参加いただき新県民会館の見学をしてもらう良い機会だと思っておりましたが、それも出来ず大変残念な結果になってしまいました。

全て中止となりましたが、その中で年次大会記念アクティビティとして山形交響楽団へ楽器運搬車・山形市へ健康遊具を贈呈出来た事は大変意義深いものがあります。

今後も、「We Serve」をモットーに社会奉仕に精進したいと考えております。

これまで実行委員会や、準備等にご協力いただきました関係各位には深く感謝を申し上げます。



ライオンズクラブ国際協会332-E地区

第66回地区年次大会 大会実行委員長 **L. 岩 淵 正太郎** (山形蔵王LC)

この度の第66回地区年次大会は、誰もが予想だにしない新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、ご案内のとおり中止のやむなきに到り誠に残念の極みでした。伊藤ガバナーの意向により新築予定の新県民会館における大会式典をメインに据え、山形テルサにての代議員会及び代議員総会・新県民会館での大会式典・ホテルメトロポリタン山形でのガバナー晩餐会と、山形駅西地区全体を使った大会の予定でした。

伊藤ガバナーは、副地区ガバナー就任当初より各行事開催予定の施設に内々に段取りつけて下さり、新県民会館の竣工具合のみが気かりという状態で実行委員会をスタート致しました。しかしながら、各会議の段取り、ブラザークラブの皆様よりいただくお手伝いのあり様など様々なことが良く解らず当クラブ会長をはじめ実行委員のメンバーには大変ご迷惑をお掛け致しました。

私個人と致しましては、ブラザー各クラブを訪問させていただき各クラブの例会の様子を拝見する事が出来大変良い経験をさせていただきました。

その中、第66回地区年次大会記念アクティビティは予定通り実施することが出来た事は、関係各位に対し感謝申し上げます。

結びに、ご協力いただいたメンバーをはじめ会員皆様に感謝を申し上げますとともに、来期の長井市における年次大会の大成功をご祈念申し上げます。

2019~2020 地区年次大会 アワード

■グランプリ賞 天童中央LC

■クラブ運営部門

◇グッドアイデア推進賞

金賞／長井LC
銀賞／大石田LC
銅賞／酒田LC

◇クラブ間交流推進賞

金賞／米沢LC
銀賞／酒田みなとLC
銅賞／尾花沢LC
鶴岡鶴陵LC

■アクティビティ部門

◇青少年教育推進賞

金賞／山形霞城LC
銀賞／天童王将LC
鶴岡LC
銅賞／上山あららぎLC
山形羽陽LC
新庄もがみLC
酒田シーサイドLC
酒田さわやかLC
鶴岡中央LC

◇環境保全推進賞

金賞／寒河江LC
銀賞／山形LC
銅賞／河北LC
酒田山王LC
鶴岡LC

◇社会福祉推進賞

金賞／山形蔵王LC
銀賞／山形中央LC
銅賞／山形千歳LC
酒田LC

◇社会福祉・献血推進賞

金賞／東根LC
銀賞／酒田LC
銅賞／上山LC

◇国際平和推進賞

金賞／山形センチュリーLC
銀賞／山形霞城LC
銅賞／上山LC

◇市民教育推進賞

金賞／山形中央LC
銀賞／尾花沢LC
銅賞／山形紅花LC

第66回地区年次大会記念アクティビティ

■公益社団法人山形交響楽協会へ楽器運搬車購入代金支援

今年度ガバナーは重点目標のひとつに「地域社会への貢献活動」を掲げ、“山形交響楽団への支援事業推進”を示されていることに沿い、これまでの楽器運搬車は購入から21年が経過し大分老朽化しており更新時期を迎えていたことにより、購入額800万円の代金の一部としてLCIF地区シェアリング交付金を活用、また不足分は年次大会会計より補填し300万円を公益社団法人山形交響楽協会へ楽器運搬車購入代金として支援、第66回地区年次大会記念アクティビティの一環として寄贈しました。

5月13日に山形市のやまぎんホール駐車場に於いて、伊藤ガバナーから山形交響楽団園部理事長にレプリカのゴールドキーを手渡して納車式が行われました。



■山形市へ健康器具(ウォールクライム) を寄贈



健康医療先進都市の実現を目指しスポーツ環境整備に取り組んでいる山形市へ、市民が身近な場所で気軽に運動に取り組み健康維持を図ってもらい、誰もがに利用できる健康づくりを目的として、健康器具“ウォールクライム”1台を寄贈しました。

“ウォールクライム”は山形市桜町の桜葉の木公園に設置されます。

■ガバナー特別賞

「サスティナビリティ推進賞」

☆山形LC 山形蔵王LC 上山LC 山形中央LC 山形センチュリーLC 上山あららぎLC 山形霞城LC
山形千歳LC 山形紅花LC 山形羽陽LC 山形アルカディア LC
☆米沢LC 米沢中央LC 米沢松岬LC 米沢松川LC ☆寒河江臥龍LC
☆天童LC 天童王将LC 天童舞鶴LC 天童中央LC 天童もみじLC ☆東根LC 東根さくらんぼ LC
☆鶴岡LC 鶴岡朝暘LC 鶴岡鶴陵LC 鶴岡中央LC

「キャンペーン100推進賞」

山形LC 山形蔵王LC 上山LC 山形千歳LC 米沢LC 寒河江LC 東根LC 酒田LC 鶴岡朝暘LC 藤島LC

■個人部門

功労賞 L.斎藤 和博(大石田LC) L.羽田 久夫(酒田LC)

高齢者賞 L.三浦孝太郎(山形蔵王LC) L.鈴木 宏政(米沢LC) L.佐藤武三郎(米沢中央LC)
L.安城 和雄(長井LC) L.奥山 靖(天童LC) L.渡辺 勇(天童LC)
L.奥山 紘一(天童王将LC) L.押井 邦昭(天童もみじLC) L.小林 元雄(酒田LC)
L.上野 重征(酒田LC) L.山本仁八郎(酒田LC) L.井上 新一(鶴岡LC)

最多スポンサー賞 L.遠田 武彦(真室川LC)(5名) L.井上 馨(藤島LC)(3名)

YCE賞 *受入 L.桂木 聖彦(山形蔵王LC)

第3回キャビネット会議・第4回ゾーンチェアパーソン会議開催

2020年2月20日(木) 山形市 山形グランドホテル

ライオンズクラブ国際協会 332-E 地区

キャビネット幹事 L. 二位関 賢 一 (山形蔵王LC)

第3回キャビネット会議及び第4回ゾーンチェアパーソン会議が、令和2年2月20日(木) 山形市 山形グランドホテルにて開催されました。

主な議案は、本年度地区会計中間報告と、ガバナーエレクト及び次期第一・第二副地区ガバナー候補者の承認、そして、本年5月に山形市で開催される第66回地区年次大会に係る詳細決定の件などでしたが、いずれも満場一致で承認されました。

次に、幹事より諸会議・事業報告並びに今期の重点事業であるLCIFキャンペーン100の進捗状況の説明及び目標額の達成のための今後の更なる取組の推進依頼と、第66回地区年次大会への予備登録及び当日の献血

アクティビティへの協力依頼がありました。

その後、各コーディネーター・ゾーンチェアパーソン・委員長より事業経過報告と今後の事業計画の発表がありました。

そして最後に、幹事より332複合地区事業「ウォカソン行動」と、2020年第7回スペシャルオリンピック日本「冬季ナショナルゲーム・北海道」とが、新型コロナウイルス感染症の拡大を理由に中止となったことが報告され、閉会となりました。

コロナウイルスが今後我々の社会にどんな影響を及ぼすのか、誰もが先の見えない不安を感じている様子でした。



2019～2020年度キャビネット報告会

ライオンズクラブ国際協会332-E地区 地区機関誌編集局員

L. 梶熊 聡



6月19日(金)山形グランドホテルに於いて、当初予定されていたライオンズクラブ国際協会332-E地区『第66回地区年次大会』が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、代わりに『2019～2020年度キャビネット報告会』が行なわれました。

L.伊藤明彦ガバナーより『4ヶ月ぶりにお会い出来、嬉しく思います。3月から色々な動きが止まり、ライオンズクラブ活動も例外ではなく、全日本・複合・地区そして各クラブの会議が中止という状態でウェブ会議や書面で決議を行いました。また、ギリギリまで地区年次大会の実行に関わって頂いた方々へ感謝し、改めて奉仕活動を行って行かなければと強く思います。この状況下で各クラブの奉仕活動の新聞記事を読ませて頂き大変勇気付けられました。本日が今期最後の会となりますが『持続可能性』にも繋げて行かなければならない。』と挨拶をいただきました。

その後、前地区三役への感謝状贈呈、献眼者への感謝状贈呈、国際アワード・地区ガバナーアワードグランプリ賞の贈呈、ガバナーエレクト・次期第一・第二副地区ガバナーの紹介、ガバナーキーの引継ぎが行なわれガバナーエレクトL.小関利一、次期第一副地区ガバナー L.佐野宏美、次期第二副地区ガバナー L.吾妻正章の挨拶があり続いて幹事報告、地区コーディネーター報告、ZC報告、委員長報告、地区年次大会委員長L.岩淵正太郎から挨拶がありました。

最後にキャビネット会計L.高橋和成の閉会の挨拶で報告会が終わりました。表彰された皆様、誠におめでとうございました。

来年度は新型コロナウイルス感染症が終息し地区年次大会が開催されることを願うばかりです。



山形センチュリーライオンズクラブ結成20周年を迎えて

山形センチュリーライオンズクラブは2000年3月に誕生して、今年結成20周年を迎えることになりました。20周年にあたり記念行事等クラブ一丸となって準備を進めてまいりましたが新型コロナウイルス感染の情勢を鑑み、協議を重ねやむなく記念例会は中止という苦渋の決断をしなければならないという大変残念な結果となってしまいました。

当クラブはこの20年諸先輩方やクラブメンバー全員で知恵を出し合い、友愛と相互理解の精神のもと試行錯誤を重ね青少年育成や社会奉仕活動を行ってまいりました。そこで20周年にふさわしい記念アクティビティとして、1つ目「アフリカケニアヘスニーカーを送ろう」と2年前から継続しておこなってきたアクティビティに力を注



ぎ会員はもとより企業・団体に声かけやパンフレットを作成して呼びかけを行った結果655足という多大な

山形センチュリーLC 会長 L. 那須 由崇

ご協力をいただき分別・梱包作業を行い、関係団体に送付することができました。

また、「けん玉」は近年の健康志向、集中力を養うために注目され、日本けん玉協会山形支部への大会協賛としてオリジナルけん玉を作成、寄贈という新たなアクティビティも行いました。

11月9日に開催された「令和元年度全日本けん玉道もしかめ選手権大会（山形会場）」では、老若男女問わず参加者の真剣な眼差し・集中力には目を見張るものがありました。

今後もライオニズムの精神を育みながら皆様からのご指導、ご鞭撻を賜り地道に地域のための奉仕活動を行って参る所存です。

そして、世界の猛威を振るっている新型コロナの終息と、早く忌憚なく奉仕活動ができる世の中がもどりますことを祈念いたします。



上山あららぎライオンズクラブ結成20周年を迎えて

上山あららぎライオンズクラブは2000年3月に結成。結成当初はチャーターメンバーを中心に新会員の入会をいただきながら、スポンサークラブ、ブラザークラブの皆様のご協力、ご指導を賜り20年。ガバナーテーマ・会長テーマに沿った、地域に貢献できる事業や奉仕活動を模索し実践して参りました。

20周年記念アクティビティは、第24回の上山フットサル大会からのご縁で、上山あららぎライオンズクラブ杯として後援させていただき今大会で20回目の節目となる事もあり、上市市サッカー協会様に小学生用サッカーゴールを寄贈、地域小学生の競技力向上に繋がっていくものと期待しております。昨年10月には、結成5周年に寄贈した『前川足湯』東屋のペンキ塗り替えや浴槽清掃等を実施。かみのやま温泉駅周辺、東回りバイパス等の



ごみ拾いも行い、同日市内4カ所の環境保全作業を20周年記念奉仕活動と致しました。また、地域の賑わい

上山あららぎLC 会長 L. 中川とみ子

創出したいとの思いから全国一の歴史を誇るかみのやま温泉全国かかし祭に「20周年記念アニバーサリーかかし」を出品。かかし制作の過程は会員の親睦と融和に大いに役立っており、木工業、塗装業等異業種会員が在籍する当クラブならではの事業となっております。

上山あららぎライオンズクラブ結成20周年記念式典を4月18日開催予定とし、会員一同準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、世界中に感染拡大し終息がみえない現状を鑑み、記念式典中止の判断に至りました。ご出席でご予定いただきました会員の皆様には大変ご迷惑をお掛けし恐縮に存じます。

仲間意識も強く素晴らしい会員と共に地域社会の一員として、地域を愛する心を令和の時代も繋ぎ、困難な状況下においても安全、安心して住める地域社会となる一助として今後も奉仕活動を継続し、上山あららぎライオンズクラブの新たな歴史を作りたいと思っております。



山形アルカディアライオンズクラブ結成15周年を迎えて

昨年9月10日、山形アルカディアLC結成15周年を記念し、災害支援チャリティゴルフコンペを開催いたしました。

東日本大震災の被災者支援を目的としてスタートしたチャリティコンペも第6回を迎えることとなり、近年では毎年のように全国で大規模な災害が発生している状況を踏まえ、クラブ結成の式典に代え規模を拡大「大災害被災者支援」として開催することといたしました。

当日は山形ゴルフクラブを貸し切り、194名という多くの方にご参加いただき、多くの災害支援金のチャリティをいただきました。

改めまして、厚く御礼申し上げます。

チャリティ支援金の一部は、台風15号により甚大な被害のあった千葉県佐倉LCに支援物資として、一部はキャビネット「地区緊急災害積立金」へ寄贈させていただきました。

少数精鋭の当クラブとしては、コンペ準備から当日さらに翌日の順位発表、賞品配布準備へと、実務的には一

山形アルカディアLC 会長 **L.連山 富藏**

苦勞でありました。特に入賞者の本人確認には大変苦勞いたしました。「誰か判らない。」という事態が発生、たまたま参加記念として撮影した写真との照合にて、何とか確認ができ無事に終了できたところでありました。

スタッフおよび関係各位には、重ねて感謝申し上げます。

山形アルカディアLC一同、20周年～50周年に向け、誠心誠意奉仕活動を進めてまいりますので今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

米沢ライオンズクラブ結成55周年を迎えて

米沢LC 会長 **L.須貝 昇**

2019年度も折り返し早々に新型コロナウイルス蔓延で、過去に経験した事の無い状況に世界が揺れております。

当年度は我米沢ライオンズクラブの結成55周年になりますが、年度当初の方針で5年前に50周年を盛大に行ったばかりであり、会員数の減少とクラブ財政、そして列席のブラザークラブの方々のご負担などを考慮し式典は行わず、年度後半に会員だけで記念例会という形で4月28日にゾーン内クラブ会長と会員のみで行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期しております。今年度中には開催したいと思っております。

そして年度前半には記念アクティビティのみを行うべくスタートしました。内容についての会議を行い「緑の基金公募事業」を活用し記念植樹をしたらどうかという事になりました。場所の選定については米沢市長でもある当クラブ員の中川勝Lに相談した所、米沢市として「ようざん桜の杜」構想が現在進行中との事を聞き、担当である農林課の方と場所の選定、桜の種類、申請のアドバイスなどをいただき、市内の大森山森林公園内にソメイヨシノザクラ5本と陽光桜5本を植樹する事に決定しました。県への交付金申請は昨年7月に申請し8月26日に

正式に交付決定となり総経費の内10万円の交付金がもらえる事になりました。

そして昨年10月22日午後からあいにくの雨模様の中レオクラブ員も加わり植樹を行いました。その模様は地元ケーブルテレビ、新聞各紙にも取り上げられクラブの活動を広く市民の方々に伝えられたものと思います。その夜は芋煮会例会を行い慰労会も兼ねた懇親会では賑やかな会話の中にいつもより以上に会員の顔が活き活きと感じられました。

近年当クラブとしては献血、雪灯籠製作を除けば身体を使った奉仕事業が減少してきたように思います。今回を契機として桜の維持管理以外でも公園全体の維持管理に貢献しながら毎年見守っていきたいと思っています。



米沢松川ライオンズクラブ結成25周年を迎えて

米沢松川LC 会長 L. 酒井原 誠

今期、米沢松川ライオンズクラブは、結成25周年という節目の年を迎えることができました。歴史の全ては、多くの先輩クラブ・ライオン同志の皆様方のお力添えを賜り、積み重ねることが出来たものと、この場をお借りして深くお礼申し上げます。

当クラブは当初より青少年の育成に注視し、小学校理科学賞顕彰を奉仕の柱にして参りました。この事業は今期23回目となり、2市2町の小学生を対象とする規模まで成長いたしました。時代は変わり教育現場も以前とは違う様子ですが、子供たちの輝く眼差しと探求心は以前と変わらないようです。継続事業の善し悪しは問われるところではございますが、対象者が毎年変わり、又教育現場からの期待も大きいことから続けております。

その他、振り返りますと、悪夢のような東日本大震災が発生……当時は現在よりも全国レベルの繋がりが少なく、自らが走り回り物資の調達・資金調達・現地クラブへの働きかけへと動いた記憶がございます。又、壊滅的

であった名取市関上に伝わる「関上太鼓」の伝統芸能継承の為、LCIFに申請し太鼓の寄贈が実現いたしました。それらは、今日まで継続している災害支援の為の資金獲得事業へと繋がっております。

今期25周年のアクティビティにつきましては、新型コロナウイルスの影響で全てを完了している訳ではございませんが、過日はメンバー2名がフィリピンに渡り、医療奉仕活動をして参りました。又、米沢市田沢地区に新築されるコミュニティセンターへ、前述の理科学賞にて顕彰された小学生の研究「木の標本」に、展示ケース詠えて贈呈致します。更に、米沢市社会福祉協議会に大型テントの寄贈も準備致しております。

現在では毎年国際大会に参加、キャビネット役員も毎年輩出しております。若いクラブながらに、成長させて頂いております。25年の歩みの中、自らの時間を割いて事業に尽力頂いた多くのメンバーにも感謝申し上げ、周年の寄稿と致します。

白鷹ライオンズクラブ結成20周年を迎えて

白鷹LC 会長 L. 笹原 俊一

白鷹ライオンズクラブにとって記念すべき年になるはずだった本年、新型コロナウイルスが全世界に広がり、今も多くの尊い命が失われております。お亡くなりになられたすべての皆様、現在も苦しい思いをされている皆様へ衷心よりお見舞い申し上げます。一日も早い終息を祈るばかりであります。

白鷹ライオンズクラブは、2001年2月1日、長井ライオンズクラブのスポンサーにより36名のチャーターメンバーで結成されました。以来20星霜、ボランティア、スポーツ少年団活動への支援、献血活動などを中心に活動を展開してまいりました。まさにチャーターメンバーをはじめとした先輩諸氏の努力と家族の支え無くしては継続できなかったであらうでしょう。結成20周年を迎えるにあたり心より感謝申し上げます。今後も先人の魂を受け継ぎ、地域に根差しながら愛する白鷹町の発展に貢献してまいり所存でございます。

特に「献血活動」は、白鷹町とコラボレーションしながら多くの皆様のご理解とご協力をいただき年2回実施しております。また、荒砥高校での献血活動にも協力し、血液が不足しがちな医療現場へ少しは貢献できているの

ではないかと自負しております。本年度も5月22日、新型コロナウイルス禍の最中ではありますが、血液センターや保健所、白鷹町と協力し、万全の感染防止策をとって実施してまいります。

結成20周年の今期、白鷹ライオンズクラブは、はからずも「元気ハツラツ！ウィサーブ」とテーマを掲げました。皮肉にも後半は新型コロナウイルスの影響で事業どころか会議もできない状態が続いております。しかし、このような困難な状況だからこそ私たち一人一人が、まさに獅子の心でウイルスに打ち勝ってまいりたいと思います。明けない夜はありません。冬は必ず春となるのです。苦しい時期を共に乗り越えて、ライオンズクラブの事業が1日も早く再開できますことを念願するものであります。



寒河江臥龍ライオンズクラブ結成30周年を迎えて

寒河江臥龍LC 会長 L. 水戸部良樹

元号も平成から令和となり記念すべきこの年に、寒河江臥龍ライオンズクラブ結成30周年を迎えられますことは、スポンサークラブであります寒河江ライオンズクラブ様はじめ、志を同じくする多くのブラザークラブや多方面にわたる関係各位のお力添えの賜物と心より感謝申し上げますとともに、会員一同この上ない喜びを感じているところでございます。

我がクラブは平成3年5月に結成されて以来、「ウィサーブ」の精神のもとこれまで様々なアクティビティに努めてまいりました。とりわけ寒河江市内にある知的障がい者施設「さくらんぼ共生園」に対する支援、交流活動は継続的に行われ、地域社会への貢献、社会的弱者への自立支援として力を入れて参りました。

この度も、ゾーン内の河北LC、寒河江LC、西川LC、中山LC、姉妹クラブの寒川LC、ニューチェジュLCのご賛同を戴き、4回目となりますが、LCIF人道支援マッチング交付金の申請を行いました。ご賛同戴きました各クラブの皆様、皿谷ZC、申請に際してお力添え戴きました伊藤ガバナー始めキャビネットの皆様、この場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。8月の国際理

事会にて承認されることを願いつつ、当クラブの「サステイナブル・アクティビティ」として、今後も末永く支援を続けていく所存です。

また、30周年記念アクティビティとして、寒河江市内の小中学校の児童、生徒に、山形交響楽団演奏会の事業費支援を行います。世界的なコロナウイルスの影響により、日程すら決められない状況になっている現況ですが、収束後には速やかに実行し未来を担う子供たちに喜んでもらいたいと思います。

ウィルス感染によりあらゆる会合、行事が自粛される中、当クラブ記念式典も中止せざるを得なかったことは大変残念ではありますが、人類の平和と人々の幸せの実現に、ライオンズクラブの果たす役割、可能性、期待についてあらためて考える機会になったような気が致します。

世界中で奉仕活動に精進するライオンズクラブの一員として、微力ではございますがクラブメンバー力を合わせて、ライオンズ精神のもと更なる精進を重ねて参る所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

東根ライオンズクラブ結成50周年を迎えて

東根LC 会長 L. 村川 信子

東根ライオンズクラブ結成50周年を迎えることが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

また、この度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月12日に開催を予定しておりました50周年記念式典を中止させていただきました。東根市長土田正剛様、並びに伊藤明彦地区ガバナー、各界の御来賓の皆様にご臨席を賜り、ブラザークラブの皆様、また姉妹クラブで九州福岡の花鶴福岡ラインズクラブ、宮城県の東松島ラインズクラブの皆様と喜びを分かち合いたいと考えておりました。中止となりましたが、式典開催に際してはたくさんのお祝いの言葉、式典へのご登録をいただきましたことを深く感謝申し上げます。50周年記念事業として東根市民体育館へ55型のデジタルサイネージ（電子掲示板）の寄贈、東松島市とのスポーツ交流事業での子供達へシューズケースの記念品贈呈を行いました。皆様に有意義にご使用していただければ幸いです。

東根ラインズクラブは村山ラインズクラブのスポンサーにより1970年4月29日、認証状の伝達式を経て誕生しました。以来、50年会員一同「We Serve」の精神のもと、結成当初より継続している献血奉仕や東根市小学

校陸上大会へのトロフィー寄贈などの青少年の健全育成、多くの奉仕活動に励んで参りました。近年はクラブ間交流がきっかけとなり友好都市締結に至った宮城県東松島市と東根市の子供達のスポーツ交流事業、東根市内の小中学校での喫煙防止薬物乱用防止教室の開催などの活動にクラブ員一丸となって汗しております。これもひとえにスポンサークラブをはじめ、皆様方の温かいご指導とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今日の50周年を迎え、地域に信頼され愛されるクラブとして私共会員一同、ライオンズの原点を見つめ、ライオンズの高揚に努め、「友愛と奉仕」を合言葉に地域社会に根ざした奉仕活動が続けて参りたいと思います。これからも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



1 年 を 振 り 返 っ て



332-E 地区 第一副地区ガバナー

L. 小関 利一 (長井LC)

皆様には、次期地区ガバナーとして選出をして頂き誠に有難うございます。先般2月10日～15日の間、米国イリノイ州セントチャールズでの2020年度第一副地区ガバナー・地区ガバナーエレクトセミナーを午前8時より午後6時迄、中身の濃い内容で受講して参りました。本当に、世界のライオンズクラブリーダーに相応しいカリキュラムでの勉強会でした。それに思い出に残る記念撮影会。ライオンズクラブ国際本部ツアー見学もさせて頂き、職員方々の丁寧な分かり易い説明で大変貴重な一時でした。

その帰国後、残念なことに、2月下旬、予想もしなかった出来事が、中国武漢市で発生し、未知のコロナウイルスによる感染症が、中国国内はおろか世界中に広がり、甚大な負の影響を与えることとなるなど、一体誰が想像したのでしょうか。感染は百を超える国々に広がり、各国は対応に苦慮しています。政府は、国内の流行は長期化することの見通しを示しました。そうなる時に最も危惧するのは、「コロナ不況」あるいは「コロナ恐慌」と呼ばれている経済活動の深刻な危機が発生することです。すでにこの数ヶ月の間に、大きな損失を被る企業が増大してきました。世界恐慌が発生するのではないかと懸念もあります。なんとしてもここで冷静に沈着に、今それぞれの企業ができること、及ぼすべきことに全力で傾注しようではありませんか。恐怖ウイルスに打ち克つためには、「心の免疫力」を高めることが肝心です。頑張りましょう。

最後になりますが、皆様のご支援ご尽力に感謝し、ご協力よろしくお願いいたします。



332-E 地区 第二副地区ガバナー

L. 佐野 宏美 (天童中央LC)

伊藤ガバナーの強い思い“サステナビリティ”をガバナーチームの一員として、332-E地区のメンバー各位にお伝えすべく、活動してまいりましたが、年度後半の4ヶ月は新型コロナウイルスに翻弄され、道半ば、多くの課題が残されたままという思いが否めません。まさにサステナブルな取り組みが望まれます。

この一年間は、伊藤ガバナーのご配慮の下、全国レベルの会議、複合地区の会議等に出席させていただき“井の中の蛙”の私にとって、色々な方々との出会いが新鮮であり、加えてライオンズクラブが国際組織であり、グローバルな考え方の基に成り立っていることを再認識することが出来ました。

今7月より小関ガバナーの下、新年度がスタートしますが、これまで我々が経験したことの無い史上空前の世の中です。

しかし、我々ライオンズクラブのメンバーは、それぞれの地域に生まれ育ち、この地で事業を営み、家族を養っているという現実があります。これまで先人たちが幾度の危機を乗り越えてきたように、我々もこの困難に“揺るぎない覚悟”を持って立ち向かっていかなくはなりません。

ここからの1年は、ライオンズクラブが組織として、またメンバーひとりひとりが地域社会の一員として、無くてはならない存在価値たり得るか否かが試されるのではないのでしょうか。

ライオンズクラブメンバーとして困難に立ち向かう“揺るぎない覚悟”を心より期待いたします。



地区LCIFコーディネーター
L.野川 亘 (天童舞鶴LC)

2018年度から2020年度まで3年間に渡っての全世界のライオンズクラブが一丸となつての『LCIFキャンペーン100』。2年目の今期、新型コロナウイルス対応で例会開催も儘ならぬ中ですが、ZCはじめ地区会員の皆様には多大なる御理解御協力を頂いており感謝申し上げます。

4月末日までの寄付実績を申し上げ報告と致します。

今期332-E地区目標 180,000^{ドル}

4月末日寄付実績 118,688^{ドル}

MJF(災害支援含み) 103,896^{ドル}

MJF以外(クラブ寄付) 14,792^{ドル}

※目標達成クラブ 10クラブ

今後とも引き続き御協力を宜しくお願いいたします。



地区GMTコーディネーター
L.永沢 敏秋 (尾花沢LC)

今期の会員増強目標を1クラブ2名以上の純増と命ぜられました。4月末時点で2名以上純増クラブが6クラブ、1名純増クラブが6クラブと健闘なされております。減少クラブも多く、全体として9名の減少となっております。我々は予期せぬ大変厳しい環境に遭遇しているなかにおいて、会員維持・増強ファーストを視点に対策を講じる必要があると考えております。チームの今期の活動のひとつに(仮称)地区会員増強マニュアルの作成がありましたが、諸般の事情が重なり資料収集のみで停滞し、作成に至っていないことをお詫び申し上げます。各クラブとも会員増強にご尽力なされていることに敬意を表し感謝申し上げます。大変厳しい環境にありますが、引き続き会員増強にご尽力賜りますようお願い申し上げます。



地区GLTコーディネーター
L.屋代 久 (米沢LC)

今年はコーディネーター3年目なので、次世代のリーダーを育てることに力を注ぎました。

1つは各委員会とのコラボを多く企画し、ライオンズの方向性や考え方をディスカッションしながら各リーダーを育てること。

2つ目は少人数のセミナーを開催することにより、中身の濃い有意義な会議にすること。

以上を目的に行動計画をしてきましたが、諸事情の為半分しか出来ませんでした。しかし、意図や方向性は若きリーダー達には伝わったと思います。

この委員会はセミナーを開催するだけでなく、如何にリーダーとなる人間を発掘し指導できるかが大きな任務です。ライオンズの中でも重要で難しい委員会ですが、来期の役員の方頑張ってください。



地区GSTコーディネーター
L.吾妻 正章 (大石田LC)

伊藤ガバナーのガバナーテーマ『サスティナビリティ』の基、重点目標である糖尿病啓発事業、子供の貧困、小児がん及び障害者支援事業、スペシャルオリンピクス日本(SON)とのパートナーシップ事業、これらの周知と理解を図る活動に取り組んでまいりました。

スペシャルオリンピクスへの理解を深めるための啓蒙活動を行い、支援事業に関して地区内の各クラブから広く支援をいただき、支援金を冬季スペシャルオリンピクスイン北海道に送金しました。しかし、開催は見送りになりました。

小児がん及び障害者支援事業として『まるごとわかる小児がん』冊子を発行し理解を図りました。

今年度は新型コロナウイルスの感染により様々な講演会並びに奉仕活動の制限を強いられ満足いく活動ができませんでした。その中で各クラブの方々には1年間ご協力いただきまして心より感謝申し上げます。



地区FWTコーディネーター

L.横山 昭子 (米沢松川LC)

伊藤ガバナーの運営方針であるSDGs（持続可能な開発目標）の中から「貧困」と「飢餓」に重点を当て、GLT、GSTとの合同セミナーとして「子ども食堂セミナー」を企画しました。山形市で「みんなの食堂」を運営している共立社様からの講演、また「こども食堂」を実際に行った九里学園高校からの発表を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにセミナーを延期せざるを得ませんでした。本当に残念ですが、来期に開催されることを願っております。

また、今期は伊藤ガバナー令夫人がヘッドネーションをしてくださいました。これをきっかけに、332-E地区でのヘッドネーションの啓発活動も進めたいと考えておりましたが、外出自粛要請を受けて、発信することができませんでした。このように今期は思った活動ができずに本当に心残りです。

その中で、「外貨の活用で小児がん支援事業」には、多くのクラブからご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆様からのご寄付は、全日本FWTを通して「小児がん」を支援する活動に役立てられます。

この1年間、FWTへのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



情報テクノロジー・大会委員会 委員長

L.寒河江潤一 (天童舞鶴LC)

2020年東京オリンピック開催予定の年に、伊藤明彦地区ガバナーのもと、キャビネット構成員として1年間務めさせていただき、有難うございました。

年度後半になり、新型コロナウイルスの世界規模感染により、かつて経験したことのない状況となりました。現時点では終息していませんが、LCメンバーとして今何が出来るのか？多くの友と知恵を出し合い取り組んでいます。情報テクノロジーに関しては、オンラインによる会議・理事会・例会等、各クラブで温度差はありますが、新たな生活様式に前向きに取り組んで進んでおります。各種大会に関しても中止になり、国際協会では国際会長・国際理事は今年度のまま留年となりました。先の見えない状況になっても、「我々は奉仕する」の持続可能な発展（サステナビリティ）を目指しましょう。皆様には大変お世話なり有難うございました。



会則・アラート委員会 委員長

L.山下 里美 (山形アルカディアLC)

初夏の季節、会員皆様ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は当委員会に格別のお引き立てをいただき、昨年は台風15号・19号の暴風雨災害に際し未だ非難をしている方もたくさんおりますが、多大なるご協力をいただいたことに際しお礼申し上げます。

さて、連日メディア等で報道されている新型コロナウイルスによる非常事態が全世界に発生していることは誠に残念なことであり、またそれ以前に事業を停止せざるを得ない企業などもあり、私たちライオンズクラブ活動にも大きく影響を与えるものとなっていました。

その中でも各クラブ、ゾーン、リジョンが一体となり、地域社会貢献のため出来る限り事業を遂行していることに対し、改めて感謝申し上げます。

今期一般社団法人日本ライオンズにおいて新たに日本ライオンズアラート委員会が設立され、毎月会議が行われており、今後のアラートに関する地域の連携を構築するため各MDの代表が選抜されておりますが、このような状況にも対応できるようマニュアルの作成や支援物資の供給方法や支援金口座の開設を行っているところであります今後緊急災害時においてよりスピーディに支援が可能になれるよう各会員の皆様にはご協力とご理解をいただき、来期に向けて進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。



国際関係・環境保全マーケティング委員会 委員長

L.三嶋 茂樹 (酒田みなとLC)

今年度伊藤ガバナーの唱える「サステナブル・アクティビティ」～持続可能性のある奉仕活動を～の一構成員として当委員会委員長としての任に如何にこたえ切れたか疑問である。

上期を終え2020を迎えると同時に、事は一変し新型コロナウイルスの感染症拡大が世界中に猛威を振るい、LCの活動も中止となり、世界中の奉仕活動が中断状況にある。

何も解らずに踏み込んだ「国際関係・環境保全マーケティング委員会」。

押し寄せてくるであろう、コロナ騒動後の貧困や飢餓。地球温暖化に限らず今回の様な地球環境の悪化を食い止め、貧困や格差の解消を目指す。正に伊藤地区ガバナーが掲げた「サステナブル・アクティビティ」が大切であり重要な事だと認識を新たにしました。

任期の1年間キャビネットの一員として多くの皆様とお目に掛かれた事感謝いたします。



YCE委員会
L.松本 敬 (山形蔵王LC)

今期のYCE事業に皆様の協力を得て無事終了できたことを感謝申し上げます。昨年夏期の来日生は台湾から女子大生の受け入れをしました。山形蔵王LCと米沢松川LCがホストクラブとなり、山形では最上川舟下りや蔵王での乗馬体験などを行い、また米沢では花火大会の鑑賞等々貴重な体験に感激の様子でした。2泊3日のサマーキャンプはC地区で開催され、東北に來ている来日生とボランティアの学生、各地のYCE委員が一緒になってこけしの絵付けや仙台味噌作り体験など、最後の日本語での発表では涙ぐましい努力で大変成果の多い事業となりました。昨年夏期の派遣生は米沢松川LCがスポンサーで、高校2年生の色麻陽香さんが台湾に行きました。帰国報告会では、自分の意見をハッキリと言えることが大切であることを体験したそうです、これからの活躍を期待します。

今回の新型コロナウイルス感染により今年の事業がすべてキャンセルになりました、夏期マレーシア派遣生2名が決まっておりましたし、また台湾からの来日生も中止になり非常に残念な気持ちです。感染が収束しYCE事業が再開されますことを祈念しております。



アイヘルス・献血・献眼・臓器移植推進委員会
L.伊藤 秀吉 (山形紅花LC)

今年度、伊藤ガバナーの元、私とL.黄木嘉明(天童中央LC)と2名での委員会を仰せつかり大変光栄でございました。

当初より1年間は短くあっという間に年度末が来るだろうと心構えをし挑まさせて頂きました。

- (1) 献血1万人運動の推進
- (2) 視力ファースト、献眼登録及び臓器移植推進
- (3) 若年層へ献血の重要性についての意識向上

この3つの目標に向かい2人でどうしたら達成できるか協議したのが昨日のように思い出します。なにせ2人しかいない委員会ですので、実行頂くのは各クラブ&会員です。

各ゾーンチャパーソンより応援を頂きほぼ順調に1月まで推移いたしました。2月より危惧してました新型コロナウイルスで各クラブの例会やアクティビティ活動も窮地に立たされ、まして年次大会も中止で最後のまとめが出来ない状態は断腸の思いです。

しかしながら、今期の活動は必ずや未来に活かされると信じております。

今期当委員会を応援・協力頂きました多くの会員やキャビネット事務局・クラブ以外の方々に厚くお礼申し上げます。



ライオンズクエスト・青少年育成委員会 委員長
L.田中 義一 (山形中央LC)

ライオンズクエストプログラムは、11年間に渡り普及拡大に努めてまいりました。しかし、ライオンズクエストとは？何？等の声を受け5年ぶりにクラブメンバーを対象にしたセミナーを計画、11月にライオンズクエスト認定講師中村先生をお招きしての「ライオンズクエスト(ライフスキル教育)」についてのわかり易い説明とワークショップを取り入れた研修会を開催しました。

なかでもメンバー全員でゲームを通して身体をうごかしたりしながら楽しくクエストを学ぶという体験はとても有意義だったとの声を頂くなど、積極的に活動していただきました。

今期後半に入り新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、学校は臨時休校が続いております。学校に行けず友達にも会えず、ストレスや、不安を感じている子ども達が多いと思います。学校が再開し先生、子ども達のあふれる笑顔のためにもライオンズクエスト(ライフスキル)事業の普及は不可欠であります。しかしクラブメンバーの協力なしでは進められません。今後とも各位のご協力をお願いいたします。



青年アカデミー委員会 委員長
L.遠藤 隆一 (米沢松川LC)

当委員会は、有能なリーダーの育成こそがライオンズクラブの持続可能性と地区の発展に直結するものと考え、若手ライオンが地区内外で活発に交流し、問題意識を持ってライオンとして成長することを支援するという重責を担っております。さらに私自身、委員長として3期目を迎える今年が集大成！と、意気込みを持って臨んでいただけに、新型コロナウイルスという脅威の前に活動自粛のまま任期を終えまこと甚だ残念でなりません。4月には330-A地区第一副地区ガバナーL.進藤義夫を迎えて「リーダーシップ研修」を、6月にはFWT・アラート委員会と合同による「ライオンズサミット」を開催すべく準備を進めましたが、感染拡大の情勢から開催を断念せざるを得ませんでした。しかし、どのような厳しい状況下にあっても知恵を絞って、最善を尽くし行動できるのがライオン本来の姿であり、課題を残す結果となりました。来期への期待を胸に、次期委員長にバトンを託します。

3年間、ありがとうございました。



1R・1Z ゾーン・チェアパーソン

L.京谷 吉雄 (上山LC)

前任者の突然のクラブ退会により任期途中からリリーフ登板となりました。以前ZCとして一期経験していた事とキャビネット副幹事として職務に当たっていた事が選出の理由かと思われます。しかしながら、責務重大なZCとしてZ内をまとめられるか不安もありました。しかし、ガバナーのご指導や、Z内クラブの皆様のご協力により務め上げる事が出来ました。

任期の集大成を迎えた頃突如として湧き上がった新型コロナウイルス。年次大会をも中止に追い込む猛威を奮い、不完全燃焼で1年を終えようとしております。この困難を、さらなるアクティビティに継がれる良き充電期間ととられ、力を蓄えて次期に望んでいただきたいと思います。

伊藤ガバナーにおかれましては、次期複合地区ガバナー協議会議長としてその手腕をいかに発揮され、重責多忙とは存じますがくれぐれも健康にはご留意して、私たちのご指導よろしくお願い致します。

1R各クラブの皆様にご心より感謝申し上げますと共に、各クラブの益々のご活躍とご隆盛をお祈り申し上げます。



2R・1Z ゾーン・チェアパーソン

L.鳥海 隆太 (米沢松岬LC)

ZCを拝命する前の副ZCの役職はZCの勉強期間であり、いざZCへ就任したときに生かされる事ばかりであったと回想する次第でありました。

更にゾーン運営にあたり、各クラブと出身クラブからの強力なバックアップなしには、職責は果たせなかったことだと心より感謝する次第です。

平成から令和への御代替わり。このような時代の大変化するなかで、「奉仕」という普遍の精神と「クラブ運営維持」という変革の行動に取り組ませていただけたのは良い経験でありましたし、ゾーンのなかでの一助になれたであろうかと畏みながら思うところであります。

年度後半からの「新型コロナ感染症」による活動自粛は、各クラブともども機会を失われ残念でありましたが、新たなソーシャルディスタンスや新生活様式などこれからの活動の参考にしながら進んで行きたいと思っております。

ライオン各位に於かれましては益々ご壮健でありますことをご祈念いたしまして御礼とさせていただきます。



1R・2Z ゾーン・チェアパーソン

L.伊澤 岩男 (山形羽陽LC)

1R・2Zのゾーン・チェアパーソンの役目をおおせつかり、早いもので、2年を迎えようとしております。1年目は副ゾーン・チェアパーソンとして庄内地区、2年目は正ゾーン・チェアパーソンとして山形地区の会議・事業の参加に非常に忙しいものがありました。本当に長かった2年間でした。

今年度のガバナーテーマの重点目標に向けた運営方針に、各クラブの皆様が理解をされて運営をして頂いた事に感謝申し上げます。無事役目を終えることが出来ました。

また、新型コロナウイルス感染の拡大によって、年次大会・周年行事・例会等の会合が中止になり、会員の皆様には大変不安を感じられたことと思います。そんな中でも会員増強に強化して頂いた各クラブの皆様にご感謝申し上げます。

また、LCIFキャンペーン100につきましては、今年度の目標達成も新型コロナウイルス感染の拡大によって困難なクラブもありました。各クラブとも精一杯頑張って頂いたことに感謝申し上げます。

最後に、キャビネット役員の皆様、各クラブ会員の皆様から温かいお気持ちをいただいたことに心より感謝申し上げます。

1R各クラブの益々のご発展とご健勝をお祈り致します。本当にありがとうございました。



2R・2Z ゾーン・チェアパーソン

L.杉沼 憲一 (高畠LC)

皆様から温かいご支援ご指導を賜り、無事1年の大役を終了させていただく時節となりました。

ゾーン内6クラブ及びサポート頂きました高畠ライオンズクラブの皆様へ、心より感謝申し上げます。

ZC就任前半は、予定通り事業を遂行できましたが、昨年10月には台風19号により置賜地区、とりわけ川西町、高畠町が大きな被害に見舞われ、両地区とも床上、床下浸水により今までにない規模での被害となりました。

また、今年に入り年明けから新型コロナウイルスが猛威を振るい、各行事、会議例会等が中止に追い込まれ、クラブ運営に支障をきたし、ZCとしての仕事も、中途半端で1年を終了しようとしております。このような形で次年度へ引継ぐ事は、不本意ではありますが、渡部次期ZCには私の分も含め、第2R第2Zを盛り立てて頂ける事をお願いし、1年の反省とさせていただきます。



3R・1Z ゾーン・チェアパーソン
L.皿谷太郎兵衛 (寒河江LC)

理解したいライオンズの用語

ここ数年の間にライオンズクラブの中でアルファベットの用語が次々と使われ始めており、どうしても理解するのに苦慮するとの声が聞こえてきます。

いや、100年前にアメリカで誕生したクラブだから仕方がないのだと言う事かも知れない。GMT・GLT・FWT・GSTそして最後にGAT（グローバルアクションチーム）と言ひ、前4チームの総括的な組織である。私などはゾーン・チェアパーソンになって初めて理解した様なものです。

さて、ゾーン・チェアパーソンを拝命して感じた事はキャビネットとクラブをつなぐ役目であります。所属クラブを理解し、ゾーン内クラブの現在を知って初めてキャビネットの目標と計画が知る事ができるのだと。しかし出て来た計画がそれがすべて各クラブにピッタリの計画かどうかは各クラブが判断する所である。一方、支援活動では3R1Zのメンバーによって台風19号災害支援に続きLCIF \$ 100献金運動が終了いたしました。ありがとうございます。

又 1年間の事、総決算である地区年次大会の中止は誠に残念であります。キャビネット役員の方々ご苦勞様でした。



3R・2Z ゾーン・チェアパーソン
L.大高 廣志 (天童王将LC)

今期を振り返って

伊藤ガバナー、キャビネット役員、ゾーン・チェアパーソンの皆様方からのご指導、ご協力を得て任期を全う出来る得る事を御礼申し上げます。

一年間を振り返ってみますと、332E地区は、伊藤地区ガバナーテーマであるサステナビリティのフラックの下で8項目の重点目標が掲げられました。

3R2Z共同事業の第一は、ガバナー公式訪問であり、盛会に執り行われました。また、公式訪問前にガバナー出席の下で行われた会議は、活発な意見をガバナーに聞いて頂いた事が印象的でありました。

重点目標の実施状況としては、1、持続可能な開発目標に関しては、天童高原の芝桜整備事業及び項目にあるスペシャルオリンピックへの支援協力を、ゴルフコンペを行い代表者出席して頂き、支援金贈呈式を行いました。中止となり残念でありました。

2、会員維持、増強に関しては、各クラブ共努力して入会を行っています。退会者があり、クラブ維持には苦勞しているのが実態であります。

3、LCIFの協力に関しては、MJFは各クラブとも順調であります。\$ 100献金が、目的が明確で無い事もあり、理解が得にくく、各クラブが苦勞しています。\$ 30から\$ 100の幅があった方が良いかと感じます。

4、地域社会への貢献活動に関しては、天童市役所、イモール天童において継続的な献血活動を行いました。また、Zの各クラブは、重点目標中で実現出来る項目を選択し、ウイサーブの心で特色あるアクティビティを行って居られた事に関して敬意を表したいと思います。

2020年に年が改まってから、新型コロナウイルスの感染拡大により、ライオンズ活動によるウイサーブが出来ない状況が続いてを居りましたが、各クラブの協力を得て5月26日に天童市長に30万円相当額の消毒液を贈呈させて頂きました。

最後に、一年間の御指導、御協力に対して重ねて御礼申し上げます。



4R・1Z ゾーン・チェアパーソン
L.工藤 敏幸 (東根LC)

不安と楽しみを思っZCの立場を頂き年度初めの7月をむかえました。

クラブの3役さへも考えていなかった自分でしたが、ましてそれ以上の立場を頂くなんて夢にも思ってもみませんでした。ガバナー公式訪問の時は一番緊張しました。キャビネット会議では、立場としてゾーンに帰って皆さんに報告しなければいけないという思いで、真剣に臨んだつもりです。すべてのキャビネット関係の会議に出席させていただきました。ゾーン内でのガバナー諮問委員会には復習の意味で資料に何回も目を通しガバナーの思いを報告したときに、元地区ガバナーのL・永沢より「今日はいま、まとめたな」と言われたことが大変うれしく、これからはがんばろうと思いました。大人も子どもも同じで褒められるのはうれしいですね。

前半は、ゾーン内の5クラブを訪問し会員との触れ合いでは丁重に迎えて頂きました。後半では薬物乱用防止関係の研修、認定講座、薬物乱用防止教室と充実した日々が続きました。東根市内の小学校での薬物乱用防止教室には、ライオンズクエスト委員長L・田中義一、青年アカデミー委員長のL・遠藤隆一のお二人に出席して頂いたこと大変意味があり感謝申し上げます。

今年の2月頃から注目されてきた新型コロナウイルスで3月からの行事や会合がライオンズに限らず、すべて中止となりゾーンで予定していたニューメンバオリエンテーション・ゾーン内交流会、東根LC50周年記念式典が出来なかったことが1年前から準備をしていただけに非常に残念でした。

今季をふり振り返り、ライオンズに何か忘れ物をした思いですが、立場を頂いたこと、心豊かな多くのライオンに出会えたことに感謝申し上げます。



4R・2Z ゾーン・チェアパーソン
L.田中 榮造 (新庄LC)

今年度、4R2Zのゾーン・チェアパーソンのお役を頂いてから半年があつという間に過ぎ去ったと思った矢先に、新型コロナ感染情報が世間を騒がし、又半年が過ぎようとしております。緊急事態宣言などが出される中、ライオンズクラブ活動はどのように推移していくのか心配でありました。ゾーン内の各クラブと伊藤ガバナーとのパイプ役として微力ながら尽力していく覚悟であったものの、ゾーン内のクラブ運営に関しては、何一つ問題解決に至らなく、キャビネット会議での内容を伝えることに終始してしまいました。自分自身もっと何かができたのではないか、特にクラブ訪問と会員とのコミュニケーションを図るという当初の目的を達しえなかったことは最大の悔やみであります。就任当初、ライオンズクラブは、「我々は奉仕する」という大きな旗のもと、衰退してはならない存在であると言う事を明言いたしました。これからも、この事を肝に銘じ活動してまいります。会友のすべての皆様に感謝を申し上げます。



5R・1Z ゾーン・チェアパーソン
L.尾沼 馨 (酒田LC)

ライオンズクラブは1917年アメリカのシカゴで結成され、翌年の1918年に発生したスペイン風邪と言う感染症を乗り越え、100年を超える奉仕の歴史を歩んでまいりました。

今期は結成以来二度目の感染症の世界的蔓延により、下期の事業がほとんど出来ないままの終了となりました。このような状況の中、ゾーンのリーダーとして、大変貴重な経験をさせて頂きました。まず、私自身がガバナーテーマ、アクティビティ・スローガンを十分理解し、ゾーンの各クラブの皆さんと共有するため、例会訪問を重ねてまいりました。特に会員維持・増強、LCIF \$ 100献金の推進にゾーンの皆様と一緒に取り組みました。達成道半ばではありますが、ご支援くださいましたキャビネットの皆様、ゾーン会員の皆さまに心より感謝と御礼を申し上げたいと思います。本当に有難うございました。

ライオンズクラブはこの難局を乗り越え、必ずや力強い奉仕活動に邁進していくものと確信しております。



5R・2Z ゾーン・チェアパーソン
L.田中 宏 (鶴岡LC)

昨年7月のZC就任時には、今のような状況は全く想像もしていませんでした。今年度のガバナーテーマ「サステナビリティ」は、コロナ危機のような事態においても、LCが社会奉仕団体として持続可能であるかという問題を突きつけていると思います。

ゾーン方針として、各クラブのアクティビティに他クラブから有志参加することで、お互いの活動を知り、支え合う意識を高めようと活動してきました。その仕上げとしてゾーンが一体となったイベント開催を予定していたのですが、コロナ危機で中止に。残念！

せめて5R2Zの8クラブで共通の取り組みができないかと思い、地元の縫製会社から、安心・安全、肌に優しい素材の布マスクを調達。未来を担う子ども達への支援をテーマに掲げ、鶴岡市と三川町の妊婦さん560名と、鶴岡乳児院へ贈呈しました。

これからのWithコロナ時代に対応した、持続可能なLC像を創っていきましょう！

アクティビティ報告

ライオンズクラブ国際協会332-E地区 地区機関誌編集局員
山形蔵王ライオンズクラブ L.笹原 一典

去る2020年5月19日(金)、新型コロナウイルスの影響によりマスク不足が続く中、伊藤明彦地区ガバナー・二位関賢一キャビネット幹事・高橋和成キャビネット会計の3人が吉村美栄子山形県知事を訪問し、感染拡大防止に役立ててもらう為に不織布マスク1万枚を寄贈しました。

このマスクは、一般社団法人日本ライオンズがLCIFからの10万ドルの大災害交付金等で購入し、各キャビネット事務局へ配布されたものです。

吉村知事からは、「お心遣いに感謝申し上げます。ぜひ有効に使わせて頂きたい。皆さんと一緒にこの難局を乗り越えていきたい」と感謝の言葉を頂きました。同席された担当者の方によると、福祉施設や学校など活用先を検討していくという事でした。

マスク寄贈後には知事との懇談の場が設けられ、新型コロナウイルス終息への思いを語り合いました。



アクティビティ報告

山形蔵王ライオンズクラブ L.板垣 信廣

山形蔵王ライオンズクラブと山形交響楽団は、約40年にわたるお付き合いがあります。今回21年ぶりに楽器運搬車を入れ替えると言うことで、ライオンズクラブ332E地区第66回地区年次大会にて支援する事になりました。

カーナビゲーションとドライブレコーダーについては、これまでのお付き合いの関係で、当クラブに支援の要請をいただきアクティビティとして支援をすることと致しました。

山形交響楽団には、これからも県民そして全国の皆様に音楽で元気を与え続けていただきたいと心から願っております。



アクティビティ報告

鶴岡ライオンズクラブ L.田中 宏

マスク不足が続く中、第5R第2Zでは以下の3つのアクティビティを行いました。布マスクについては、鶴岡市内の縫製会社で製造された、肌に優しい素材のものを調達。

1) 鶴岡市と三川町の妊婦さん向け

例年の出産実績をもとに、鶴岡市役所へ500枚、三川町役場に50枚の布マスクを寄贈。4月末には各世帯へ郵送され、大変喜ばれました。

2) 鶴岡乳児院の子ども達と職員向け

乳児院には様々な事情で家族と一緒に暮らせない乳児が生活しており、昨年まで鶴岡乳児院が県内唯一でした。現在は10名が在所。当ゾーンではFWT委員会と連携して、継続的に支援を行なってきました。

子ども達にはLC関係者が手作りした可愛い柄の布マスクを。子ども達の生活を24時間365日支えている職員さんに布マスクを贈呈。

3) 献血記念品として

輸血用血液の不足を受けて、鶴岡／鶴岡朝陽／鶴岡鶴陵／鶴岡中央の4LC合同で、4月と5月に2回の献血アクティビティを計画。献血記念品として布マスクを贈呈しました。

コロナ危機が長期戦になりつつある中、今だからこそ求められている社会奉仕を模索していきたいものです。



乳児院への贈呈 伴和香子FWTコーディネーターと共に



三川町への贈呈 三川町長は三川LCメンバーです



鶴岡市への贈呈 健康課職員の妊婦さんがマスクを試着！

アクティビティ報告

山形羽陽ライオンズクラブ L.安部 泰輔

山形羽陽ライオンズクラブは前年度、結成25周年記念アクティビティとして、高齢者の方々から安全に通行して頂こうと、山形警察署へ「夜光反射シール(10,000枚)」を寄贈致しました。

今年1月に山形市内で、反射材のついた靴を履いて夕方横断歩道を渡っていた歩行者が命を落とした事故を受け、クラブとして少しでも悲惨な事故を無くすため、より見やすい反射材を考え、今年度も継続して3月5日(木)に「夜光反射材リストバンド(2600本)」を山形警察署に寄贈致しました。

「夜光反射材リストバンド」は、交番のお巡りさんが各家庭を巡回して高齢者へ手渡しをし、交通事故防止の注意喚起を行う予定でしたが、現在新型コロナウイルス感染防止対策の為、訪問できないのが現状です。また、山形警察署へ運転免許更新や返納に訪れた高齢者に対し交通事故防止の注意喚起を行い、リストバンドをプレゼントしております。

今後とも、山形羽陽ライオンズクラブとして何ができるかを考え、悲惨な交通事故撲滅に協力し、反射材があるおかげで一件でも事故が少なくなるように、活動を通して交通安全に協力して参りたいと考えます。



「知ってほしいなあ、わたしたちのこと」

～「花笠ほ一ふ隊」による疑似体験講座～

天童中央ライオンズクラブ

L.野口 美樹

2月18日、天童ホテルにて当クラブの公開例会「知ってほしいなあ、わたしたちのこと」(「花笠ほ一ふ隊」による疑似体験講座)が開催されました。

障がいを持つ人を「支える」、「寄り添う」、そして「共存する」社会があたりまえになってほしいということをよく耳にするようになりましたが、最近では自治体の障がい者雇用の問題が大きく取り上げられるなど、まだまだ正しい理解がされていないように思います。

そこで、知的障がいや発達障がいを持つ人が日常をどのように感じているかを疑似体験する講座等を全国各地で実践している、知的・発達障がい理解啓発キャラバン「花笠ほ一ふ隊」に講演をいただきました。

知的障がいや発達障がいを持つ人に特有の「感じ方」は再現が難しく、その手法はまだ確立されておきませんが、代表の古澤薫先生ご自身の経験から考案された疑似体験は非常に珍しく、大変貴重な経験になりました。こうしたワークショップを是非、県内外の教育の現場に取り入れていただければというのが、我々の切なる願いです。今後のライオンズクラブのアクティビティに大きな指標を与えてくれるものと思います。



「新入学児童用ランドセルカバー寄贈」

酒田ライオンズクラブ

L.佐藤 憲二

新型コロナウイルスが流行し始める中、3月17日に酒田市役所を訪問し丸山至酒田市長へ新入学児童用ランドセルカバー700枚を寄贈しました。酒田市立22の小学校と山形県立特別支援学校が対象となり贈呈式には報道関係者も参加し新聞、今回はTVにまで取り上げて頂きました。今でさえ各地域に見守り隊がありますが当初はそのようなことも無く、カードライバーからも目立つ鮮やかな蛍光素材のランドセルカバーを子どもたちが安全に登下校出来るようにと、当時委員長であるL.上野重征が1993年3月に第1回目1,250枚（1市3町合併前）を贈呈、以来今年度で27回目になるランドセルカバーの枚数は700枚（1市3町合併後）半分とはいかないものの子どもたちの減少が目に見えております。4月21日には新堀小学校の入学式へ出席し、式典後に新入生代者に手渡すことが出来ました。

このような大変な状況ではありますが、実際にランドセルカバーをつけて登下校をしている新1年生を見ているとなぜかほっこりと気持ちが和みます。この事業は酒田LCのメインアクティビティとなっており、大変良いアクティビティを諸先輩達より継承したと思っております。We Serve



1本の赤青エンピツ

酒田さわやかライオンズクラブ

L.阿部ひとみ

2003年の結成時より交流をさせていただいている酒田幼稚園、酒田第二幼稚園、酒田市はまなし学園の卒園児へ今年も「1本の赤青エンピツ」を贈ることができました。

この事業は10年前より行っており、当初は「1本のエンピツ」を贈っていましたが、「1年生は授業で赤青エンピツを使うからそれを贈った方が喜ばれるよ。」というアドバイスにより、4年前からは赤青エンピツを贈っております。

例会時にお祝いのメッセージシールを貼った袋に1本ずつエンピツを入れて、シールで封をしてラッピング。

例年は、卒園式の前に各園を訪れて子どもたちに手渡し、子どもたちの歌を聴いたり話をしたりするのですが、今年は新型コロナウイルスの影響で子供たちに会うことは出来ませんでした。後日、園長先生よりエンピツを持った写真をいただきました。

このような状況下でも子供たちの明るい笑顔に力をもらい『あせらず あらてず あきらめず』活動していこうと思っております。



『チャリティパフォーマンス発表会』～山形紅花ライオンズクラブ～

山形紅花LC 会長 L. 鹿谷 孝子

令和2年2月1日(土) 山形テルサアプローズにて『山形紅花ライオンズクラブ主催 チャリティパフォーマンス発表会』を開催しました。

この発表会は、普段から練習を積み重ね素晴らしい実力を持っているにも関わらず、それを披露する場所がない方々へ思う存分力を発揮し発表してもらうための場所の提供であり、且つ様々なジャンルの様々なパフォーマンスを1回のステージでご覧頂く事が出来る楽しさの提供、さらにその売上の一部をLCIF及び日本赤十字社山形県支部様に提供するアクティビティです。

パフォーマンスを発表してくれたのは…

- ①山形県立北高等学校 音楽科(有志)
- ②NPO法人中山総合スポーツクラブ
- ③日本舞踊 千川流 桜会
- ④ゴスペル聖歌隊 レインボーレインボー
- ⑤ラ・シヴァ(障がい者身体表現)
- ⑥スタジオ・ビートファクトリー
- ⑦メ・ケ・アロハ・チェリーズ
- ⑧日本舞踊 千川流 花萌の会
- ⑨山形ジュニアバントフリング
- ⑩山形県立天童高等学校 なぎなた部
- ⑪山形チアリーディングチーム グルーバース
- ⑫山形大学 花笠サークル 四面楚歌



パフォーマンスを発表してくれた方々もステージをご覧になった方々も「本当に楽しかった!ありがとうございます!」と喜んでくださいました。そして私達山形紅花ライオンズクラブも初めての試みであった為、苦労もトラブルもたくさんありましたが《ステージを成功させる》という目的で一丸となり取り組む事が出来ました。運営をしてみて「やって良かった。喜んでもらえて良かった。」とたくさんの笑顔が溢れました。

最終的にLCIFに360ドルを献金し、日本赤十字社様に¥52,622を寄付しました。

この活動を通して、相手の笑顔が見えるアクティビティは自分達の自信に繋がったと自負しています。ライオンズクラブという大きな組織でなければ出来なかった体験でした。全ての皆様に感謝しています。ありがとうございました。

『(1R2Z) 5クラブ合同アクティビティ』

山形霞城LC 会長 L. 寒河江 祥一

新型コロナウイルス感染拡大対策として、3・4月は我々の使命である奉仕活動が皆無状態のなか、伊澤岩男ゾーンチェアパーソンの声掛けで、(1R2Z) 5クラブ合同アクティビティが実施されました。山形市内36小学校全学童71クラブ3,580名の子供たちに、飲料水500ml 1本と各クラブに手の消毒用アルコール500ml詰め替え用ボトル71本をお届けする活動を行うため、「山形千歳ライオンズクラブ」L.前橋会長・「山形紅花ライオンズクラブ」L.鹿谷会長・「山形羽陽ライオンズクラブ」L.安部会長・「山形アルカディアライオンズクラブ」L.連山会長にご相談し、了承を得て、アクティビティが始まりました。4月13日に、山形霞城事務局において



仕訳作業を行い、4月15日、1R2Z 5クラブで学童71クラブを地区毎に5等分し、1クラブ14～15箇所の市内各学童クラブにお届け致しました。配布に先立ち、山形霞城ライオンズクラブ「社会福祉・アラート委員」L.斎藤淳一ライオンの「ウイルスを持ち込まない・持ち帰らない。子供達に喜んでもらえる活動にしましょう。」とのご挨拶の後配達し、子供達の大きな歓声や「ありがとうございます。」等の笑顔があふれていました。

マンスリーレポートクラブ別一覧表

2020. 5月

R	Z	クラブ名	会員移動状況					家族会員		金銭アクティビティ		労力アクティビティ		献血		献腎	献眼	LCIF 金額	出席率 (%)
			年初	月初	目標	入会	退会	現在	世帯数	子会員数	件数	金額	件数	人数	受付者数	献血者数			
1	1	山 形	46	46	3	0	1	45	0	0	2	13,800	2	3	69	63	0	0	100.0
		山 形 蔵 王	36	35	2	0	0	35	0	0	1	77,000	0	0	0	0	0	0	0.0
		上 山	47	44	2	0	0	44	17	17	1	1,540	1	1	9	7	0	0	100.0
		山 形 中 央	38	40	35	0	0	40	3	3	0	0	0	0	1	1	0	0	383,880
		山形センチュリー	17	18	3	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191,940
		上山あららぎ	35	34	3	0	0	34	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0
	2	小 計	219	217	48	0	1	216	25	25	4	92,340	3	4	79	71	0	0	575,820
		山 形 霞 城	90	90	2	0	0	90	14	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		山 形 千 歳	31	29	2	0	0	29	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		山 形 紅 花	29	31	2	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		山 形 羽 陽	29	27	2	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		山形アルカディア	27	28	2	0	0	28	7	7	1	10,000	0	0	0	0	0	0	57.1
	合計	小 計	206	205	10	0	0	205	26	31	1	10,000	0	0	0	0	0	0	0
		合 計	425	422	58	0	1	421	51	56	5	102,340	3	4	79	71	0	0	575,820
2	1	米 沢	50	49	4	0	0	49	14	26	1	2,300	0	0	0	0	0	0	34.6
		米 沢 中 央	29	27	3	0	0	27	0	0	2	102,700	1	6	0	0	0	0	44.4
		米 沢 松 岬	17	17	4	0	0	17	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0.0
		米 沢 松 川	41	29	3	0	0	29	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0
		小 計	137	122	14	0	0	122	21	35	3	105,000	2	8	0	0	0	0	0
	2	南 陽	38	38	5	0	0	38	0	0	4	99,248	1	9	89	75	0	0	100.0
		川 西 山 形	20	21	3	0	0	21	6	6	2	15,965	1	2	50	44	0	0	92.8
		高 島	63	63	3	0	0	63	11	14	1	330,700	1	3	0	0	0	0	46.0
		長 井	48	48	2	0	0	48	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	456,817
		飯 豊	23	26	2	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	合計	白 鷹	23	22	2	0	0	22	0	0	2	126,520	2	11	126	99	0	0	82.3
		小 計	215	218	17	0	0	218	26	29	9	572,433	5	25	265	218	0	0	456,817
	合計	合 計	352	340	31	0	0	340	47	64	12	677,433	7	33	265	218	0	0	456,817
3	1	河 北	37	37	3	0	0	37	9	10	2	40,000	0	0	0	0	0	0	100.0
		寒 河 江	40	38	4	0	0	38	11	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		西 川	27	28	2	0	0	28	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		中 山	17	16	2	0	0	16	1	1	1	150,000	0	0	0	0	0	0	150,000
		寒 河 江 臥 龍	58	60	2	0	0	60	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	117,297
	2	小 計	179	179	13	0	0	179	37	39	3	190,000	0	0	0	0	0	0	267,297
		天 童 童	31	31	2	0	0	31	0	0	2	52,550	1	1	11	10	0	0	100.0
		天 童 王 将	61	60	2	0	0	60	7	10	2	94,234	1	6	18	16	0	0	100.0
		天 童 舞 鶴	46	43	5	0	1	42	7	7	2	73,010	0	0	13	10	0	0	100.0
		天 童 中 央	52	52	2	0	0	52	0	0	3	69,210	0	0	18	16	0	0	100.0
	合計	天 童 も み じ	13	13	2	0	0	13	1	1	2	21,050	0	0	4	4	0	0	110,000
		小 計	203	199	13	0	1	198	15	18	11	310,054	2	7	64	56	0	0	110,000
	合計	合 計	382	378	26	0	1	377	52	57	14	500,054	2	7	64	56	0	0	377,297
4	1	村 山	28	26	4	0	0	26	7	8	1	43,120	1	7	49	46	0	0	80.7
		東 根	21	19	2	0	0	19	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0
		尾 花 沢	42	45	2	0	1	44	12	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		大 石 田	34	35	2	0	0	35	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		東根さくらんぼ	48	48	2	0	1	47	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	86.8
	2	小 計	173	173	12	0	2	171	35	39	1	43,120	1	7	49	46	0	0	0
		新 庄	18	16	2	0	0	16	5	5	0	0	1	5	0	0	0	0	0.0
		真 室 川	36	40	3	0	0	40	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	42.5
		新 庄 も が み	19	19	1	0	0	19	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		新庄ニューセンチュリー	32	33	5	0	0	33	3	3	0	0	1	8	0	0	0	0	54.5
	合計	新庄もみの木	18	18	2	0	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		小 計	123	126	13	0	1	125	14	14	0	0	2	13	0	0	0	0	0
	合計	合 計	296	299	25	0	3	296	49	53	1	43,120	3	20	49	46	0	0	0
5	1	酒 田	77	79	4	2	0	81	23	28	1	8,180	1	4	22	19	0	0	0.0
		余 目	17	18	4	0	0	18	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		酒 田 み な と	41	37	4	0	0	37	11	13	1	8,180	0	0	22	19	0	0	0.0
		酒 田 山 王	7	7	2	0	0	7	0	0	1	8,180	0	0	21	19	0	0	85.7
		酒田シーサイド	30	30	2	0	0	30	0	0	1	8,180	0	0	21	19	0	0	63.3
		酒田さわやか	12	12	1	0	0	12	0	0	1	8,180	0	0	21	17	0	0	0.0
	2	小 計	184	183	17	2	0	185	38	45	5	40,900	1	4	107	93	0	0	0
		鶴 岡	46	46	2	0	0	46	7	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		鶴 岡 朝 陽	28	29	2	0	0	29	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		三 川	23	23	2	0	0	23	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		羽 黒	21	21	2	0	0	21	8	8	0	0	1	2	77	68	0	0	14.2
		鶴 岡 鶴 陵	38	39	4	0	0	39	10	14	1	15,382	2	18	119	106	0	0	82.0
	合計	藤 島	49	53	2	0	0	53	6	11	0	0	0	0	0	0	0	0	33.3
		鶴 岡 中 央	38	40	2	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	合計	鶴岡ナイスフェロー	6	6	3	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.3
		小 計	249	257	19	0	0	257	41	51	1	15,382	3	20	196	174	0	0	0
	合計	合 計	433	440	36	2	0	442	79	96	6	56,282	4	24	303	267	0	0	0
		地 区 合 計	1,888	1,879	176	2	5	1,876	278	326	38	1,379,229	19	88	760	658	0	0	1,409,934

ライオンズクラブ国際協会332－E地区および社会福祉法人山形県社会福祉協議会 『災害時における協力に関する協定』 締結式



ライオンズクラブ国際協会332－E地区

地区機関誌編集委員 L.原田 清彦(山形千歳LC)

去る2020年6月25日(木) 山形県総合社会福祉センターに於いて、ライオンズクラブ国際協会332－E地区と社会福祉法人山形県社会福祉協議会が『災害時における協力に関する協定』を結び、その締結式を行いました。

キャビネット幹事L.二位関健一、キャビネット会計L.高橋和成、会則・アラート委員長L.山下里美、及び県社会福祉協議会の専務理事をはじめとする幹部の皆様が見守る中、332－E地区ガバナー L.伊藤明彦と山形県社会福祉協議会 青山永策会長が協定書を取り交わしました。

伊藤ガバナーより「被災された地域のニーズに叶った支援活動をする為には、地域の実状に精通しておられる社会福祉協議会と連携することが非常に大切なこと。」と締結に至った経緯がお話しされました。また、青山会長より「この度の協定は皆様の善意を被災された方々へお届けすることを目的とするものであり、被災者にとって大きな励まし、心の支えとなる。災害発生時には市町村の社会福祉協議会と連携し災害ボランティアセンターを設置するが、ここを通して被災地、被災者の意向を的確に把握し、皆様の支援実現のために情報提供して参りたい」とご挨拶がありました。

《 あ と が き 》

2001年1RのD.G.としてキャビネット構成員となり今回2度目の構成員として地区機関誌編集局長の要職を軽く引き受けましたが「染屋の白袴」の譬えの如く不安で一杯でした。第一回の編成会議を開催、そのメンバーは全て2017年～18年各クラブ三役経験者で県内印刷工業組合の理事長と理事が在籍されており局員一同その多才に何と驚き最高の布陣であると確信致しました。

毎月1～2回の会議を開き依頼した原稿も順調に集まり万事順風の船出でしたが2020年に入り突然古今未曾有の細菌戦争「新型コロナウイルス感染症」のハリケーンが全世界を襲い外出抑制やイベント等の自粛要請により東京オリンピックの翌年延期を始めプロアマを問わず全ての大会が中止となりました。またライオンズの例会・周年行事を始め65年も続いたライオンズ最大のイベント“山形県総合文化芸術館”柿落として第66回地区年次大会も中止となり第4集が発刊される事が瀬戸際に立たされましたが編集各位が“コロナ細菌”の恐怖と戦いながら度々会合を重ね無事発刊出来ました事、その努力は尊く感謝の外有りません。

ライオン史上に残る出来事に遭遇し恵まれた局員に囲まれこの仕事を引き受けました事を有難く思っています。

L.西村 久男 記



地区機関誌編集局

局長	L.西村	久男(山形蔵王LC)
次長	L.梶熊	総(山形蔵王LC)
局員	L.大風	亨(山形霞城LC)
局員	L.阿部	哲也(上山LC)
局員	L.原田	清彦(山形千歳LC)
局員	L.笹原	一典(山形蔵王LC)



No.4 「旧済生館本館」



旧済生館本館は初代山形県令であった三島通庸が山形の近代化を推し進めるため、近代的な建築物を街の中心部に次々と建設した中の一つで、明治11年(1878)に擬洋風建築の病院として竣工しました。病院新築の大構想のもと、東京や横浜の病院を視察し建設したもので、当時の太政大臣であった三条実美に病院に掲げる扁額の揮毫を依頼したところ、「済生館」と題されたので、これを取って「山形県公立病院済生館」と称することとなりました。済生館には、医学校が併設されており、オーストリア人医師ローレッツを採用し、医師及び教師として山形の医学の中心として機能を果たしていました。その後、明治37年(1904)に山形市立病院となりました。昭和30年代後半になり、建設後約90年を経た老朽化した本館の取り扱いについて解体か保存かで議論が交わされた結果、明治初期の現存している擬洋風の建築物で数も少なく歴史的に貴重であるとして、昭和41年(1966)に国の重要文化財に指定されました。これを機に七日町から現在地に移築復元され、昭和46年(1971)より山形市郷土館として一般に公開されております。

